

こおるま

永遠の仲間

7月15日に、私の会社の社員が事故で亡くなりました。22歳でした。彼は、生まれてすぐに親に捨てられ、一時はヤクザの準構成員にもなっていた男でしたが、結婚し、子供を授けられて、幸せになろうと、精一杯努力していたところでした。

手のかかる方の子ではありましたが、こんなに寂しく思うのは、彼の笑顔が優しくかったからだと思います。

私もこれまで多くの葬儀に参列して来ましたが、社員本人の葬儀は初めてで、家族を失ったようなショックでした。

そんな中、本当にありがたかったのは、私の仲間達が、忙しい中、駆けつけてくれ、一人一人が彼の為に複写で書いたメッセージを供えてくれたことでした。

「その人の大切なものを大切にすることが、その人を大切にすることだ」と言いますが、私の社員を大切にしてくれたことは、私にとっても何よりありがたいことでした。

右のメッセージは、社員が書いたものですが、きっと彼は、これまでの人生でもらったよりも、たくさんのメッセージに送られて、旅立ったことと思います。それが私にとってせめてもの救いとなっています。

「亀ちゃん、亀ちゃん」と、入社してから皆に呼ばれて可愛がられ、いつもニコニコと笑顔で答えてくれていましたね。
 私にとっては、元気の良い弟が出来たと喜んでいたのもつかの間、突然いなくなってしまうなんて・・・
 笑顔を残してくれてありがとう。
 亀ちゃんはずっと、私達の亀ちゃんだから。
 小沢隆弘

荒みをなくすには？

私は、色々な会にお邪魔することがありますが、「世の中から荒みをなくしたい」「より良い世の中にしたい」という思いで活動している人達のはずなのに、その席で「あその会は、・・・。」とか「あの人は、・・・。」といった話を、たまに耳にすることがあります。

私も、人前で話をさせてもらったり、会のお世話をすることがあるので、「きっと私も言われているのだろうな」と怖くなります。私はその話の真偽はわかりませんが、もしかしたら言われる方にも誤解される何かがあるのかも知れませんが、誰も完全な訳ではありませんし、その人のいないところでその話をしたところで何も良くならないと思うのです。それどころか、もしその話がその方の耳にはいったらどう思うでしょう？言われた人は、きっと心が荒むと思うのです。それではせっかくの「荒みをなくしたい」という思いと矛盾してしまいます。

もし誰かのやり方で疑問に思えるところがあったら「私はこうした方が良いと思うのですが、どうでしょう？」と尋ねてみたいと思います。その方がそのやり方を続けるのには、私には分からない何かがあるのかもしれませんが、もしかしたら私の意見が役に立つかもしれないと思うのです。

私は多くの人とかかわって来て、「何が正しいか？」より、「それをどう伝えるか？」の方が、大切だとさえ感じています。私の過去を振り返ってみても、「正しい人」にどれだけ傷つけられたかわからないと思うのです。

もし本当に「荒みのない世の中を創ろう」と思うのなら、少なくともそう思う者同志は、信頼し合い、話がし合えなくては、とても出来ないことだと思います。

私にもきっと自分では気づかない失礼が多々あると思いますが、決して悪意ではないので、気が付かれた方は、他の人ではなく、私にやさしく教えて下さい。お願いします！

幸せの水

商売でも人間関係でも同じだと思うのですが、相手の「期待」というコップを溢れさせ、こぼれた分が相手の喜びであり、こちらに對する感謝になると思います。

私はこれまで義理で葬儀に出席したり、香典を人に立て替えてももらったことが何度かありますが、それでは相手のコップに合っただけの水でしかなく、決して感謝（喜び）という水を、溢れさせたことにはなっていないと思います。また、お金では、なかなかそのコップを溢れさせることは出来ないものだと思います。

時々、仕事場などで「俺は、やることはやっている！」と言っている人を見かけますが、そうしたやり方では、決して喜びの水を溢れさせることは出来ないだろうと私は思います。

それどころか、「溢れさせたら損だ」とばかりに、水がこぼれないように止めている人さえいるような気がしますが、本当の利益（幸せ）は、損益分岐点を越えたところにあると思います。

皆さんも、せっかく仕事をしたり、人と付き合うのなら、喜びの水を溢れさせる工夫をしてみてもはいかがでしょうか？

☆☆ お便りコーナー ☆☆

人に信頼されることは、とても難しいことですね。自分としては一生懸命「善かれ」と思っていたことでも、受け止める方の受け止め方がありませんから。
 でも、自分なりに出来ることをやっていくしかないのではと思っています。
 どうであれ必ず結果は出ますし、意外と世の中は公平です。
 「目明き千人、盲千人」と言いますから。

今日も杉井さんへの葉書を出しにポストに行きながら、いつものように道のゴミ拾いをしていて、近所の洋服店のお婆ちゃんが、初めて「ご苦労さん」と言ってくれました。僕はしばらくあっけにとられてしまいました。ニッコリ笑ったお婆ちゃんの顔が、とても印象的でした。
 杉井さんを真似てゴミ拾いを始めた頃、周囲の人に「気が狂った」と言われたことを思うと、考えられなかった言葉に、習慣になれば、当たり前のこと、人は感謝してくれることを知りました。これからもコツコツ続けていきます。

今月の活動情報

日程	内容	主催者・会場
8 / 4~5	建設的な生き方を学ぶ会	(浜松 半僧坊総本殿)
8 / 17 (金)	浜松	(浜松地場産業振興センター)
8 / 18 (土)	草薙	(草薙 谷澤トレーナー宅)
8 / 18 (土)	藤枝	(オリジン)
8 / 21 (火)	東京	(東京ベルクラシック)
8 / 22 (水)	山梨	(山中湖 安心サービス)
8 / 23 (木)	沼津	(沼津原地区センター)
8 / 25~26	長野掃除に学ぶ会	
8 / 27 (月)	長野	(長野県飯山市)
8 / 28 (火)	金沢	(石川女性センター)

私のビデオが第一位に!

別紙のとおり、皆さんのおかげで私のテープが「2001年 上半期」の第一位になりました。私にすると「少しでも作って下さったFPPステーションさんのお役に立てれば」と思って紹介させて頂いたのですが、思いがけない結果となり、逆にFPPステーションさんからお礼を言ってもらいました。「こんなことだったら、自分で作っておけば良かった」という気持ちもしますが、人に良くすると、自分が幸せになる典型となった気がします。商売も、人生もこうありたいものですね。皆さん、ありがとうございます!